

第 1 章 総合計画の策定にあたって

第1章 総合計画の策定にあたって

1 総合計画とは

「大津市総合計画」とは、本市行政を総合的かつ計画的に推進していくための、すべての行政分野にわたる全体的かつ長期的で、最も上位に位置づけられる計画です。行政各分野毎の計画は、総合計画の考え方に基づいて策定されます。

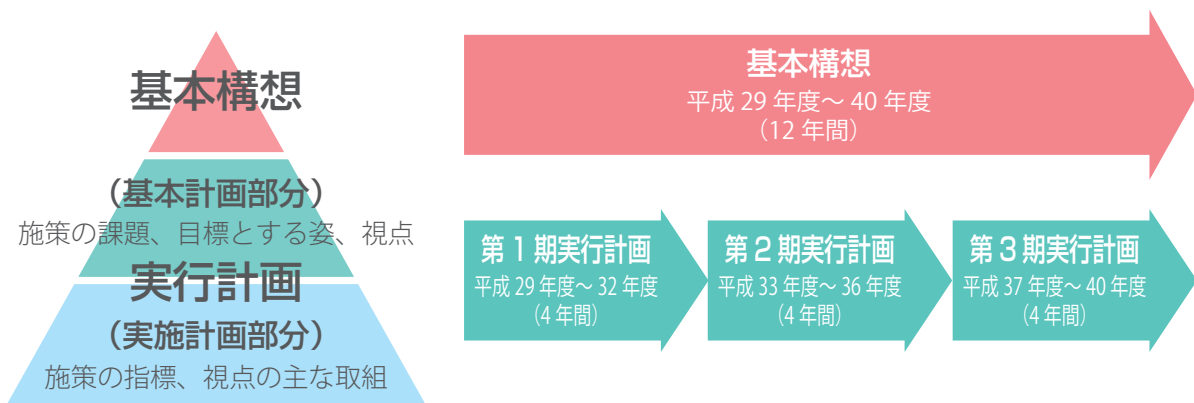
計画は、「基本構想」と「実行計画」で構成します。

「基本構想」は、今後のまちづくりにおいて目指す姿である将来都市像と、その実現のための方針や政策、姿勢を定めた長期的な構想で、計画期間は平成29年度から平成40年度までの12年間と決めました。

「実行計画」は、基本構想に掲げられた将来都市像などを実現するために、基本構想の計画期間（12年）を4年ごとで3期に分割し、各期間で取り組む具体的施策などを示したものです。

実行計画は、基本構想を実現するために必要な施策や視点を体系づけた「基本計画」と、さらにそれを具体的な事業内容として、主な取組を示した「実施計画」で構成します。

第1期実行計画は、平成29年度から平成32年度までの4年間を計画期間としています。



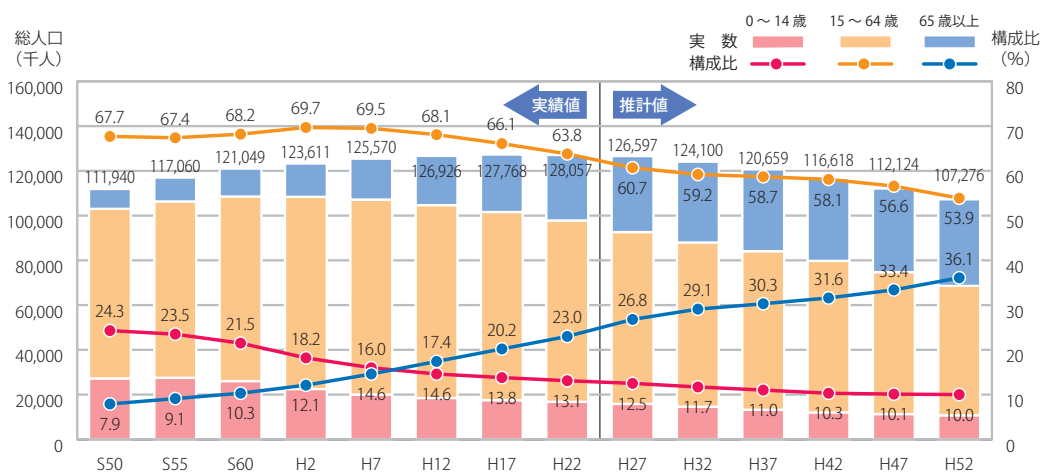
2 大津市をとりまく状況

(1) 人口の動向

① 全国と滋賀県の人口

減少局面に突入した日本の総人口は、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、今後も減少し続け、平成52年(2040年)には現在よりも約1,900万人、約15%減少する見通しとなっています。

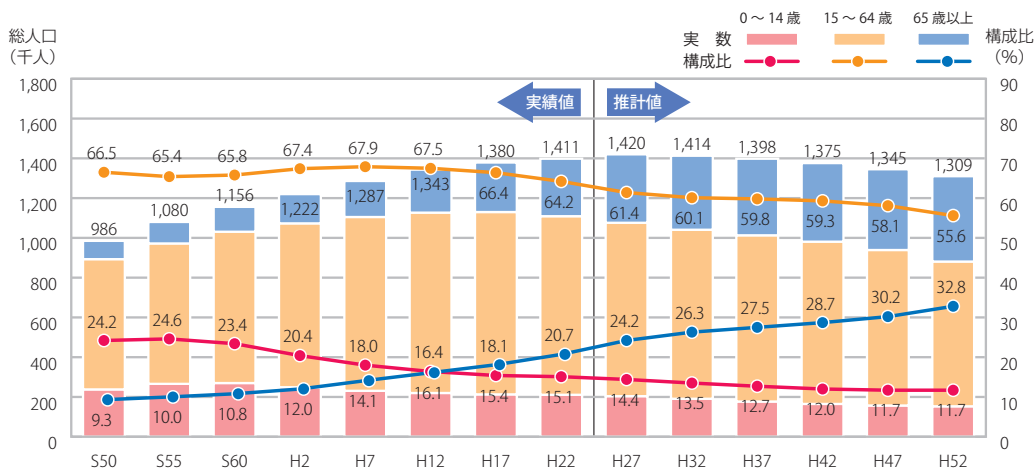
年少人口(0～14歳)や生産年齢人口(15～64歳)が減少し続ける一方、高齢人口(65歳以上)は増加し、高齢化率は平成52年(2040年)には36.1%になると見込まれています。



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

図 全国の総人口および年齢階層別人口の推移

滋賀県の人口も全国に遅れて減少局面に突入すると予想されていますが、その傾向は全国よりも緩やかで平成52年(2040年)には現在よりも約11万人、約8%の減少となる見込みです。



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

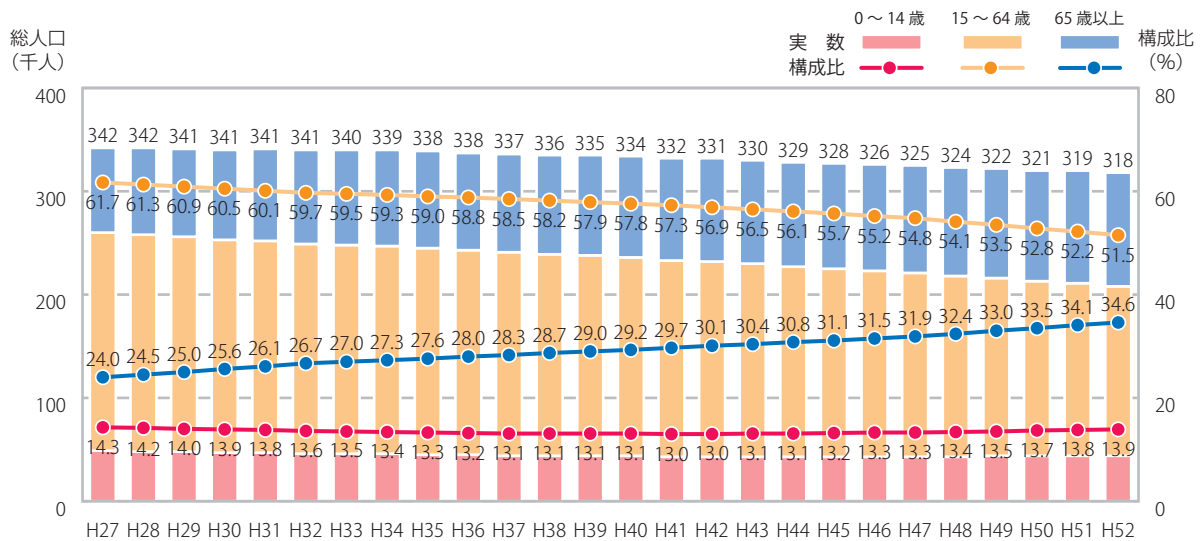
図 滋賀県の総人口および年齢階層別人口の推移

② 大津市の将来人口

平成27年（2015年）の大津市の人口は342千人であり、昭和15年（1940）以降増加傾向にありましたが、今後は減少し続けると見込まれています。

「大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において設定した将来展望人口*では、平成52年（2040）には318千人となり、平成27年（2015）よりも24千人減少すると想定しています。

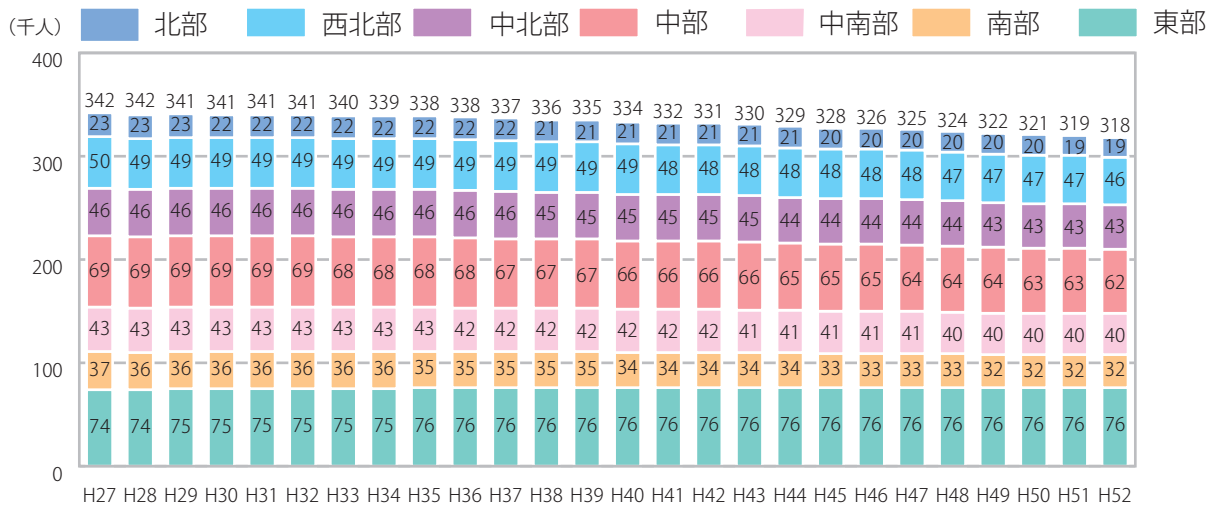
年齢3区分別にみると、生産年齢人口が減少するとともに、老年人口が増加し続け、急速に高齢化が進むと想定されています。



出典：大津市集計

図 大津市の総人口および年齢階層別人口の推移

地域別にみると、東部を除き減少傾向となり、特に南部での減少割合が高くなっています。

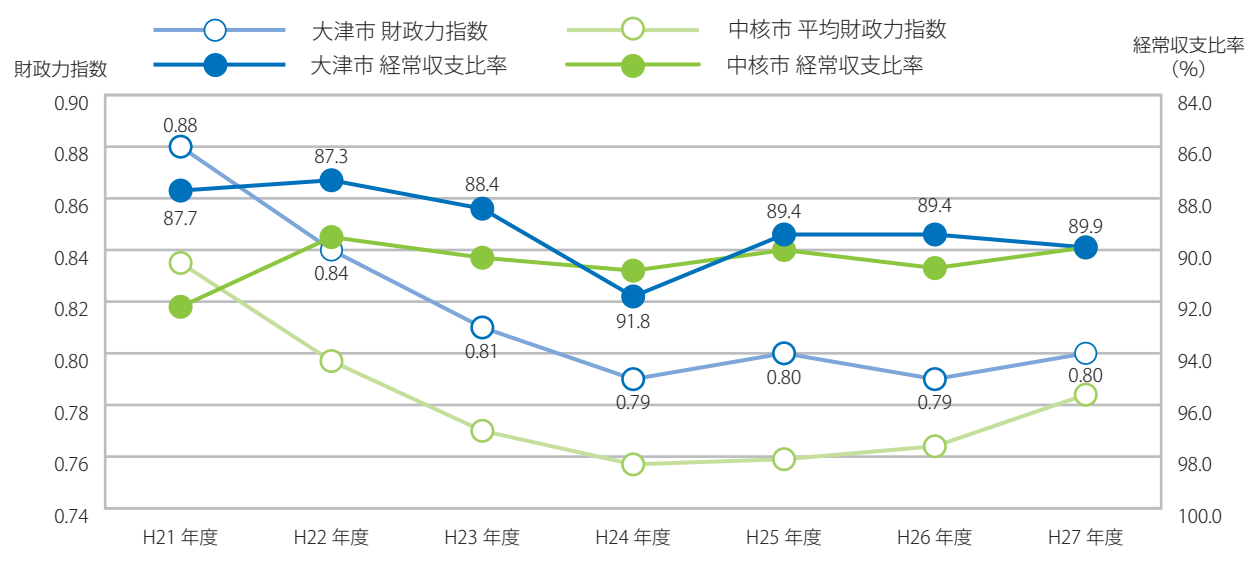


出典：大津市集計

図 地域別人口の推移

(2) 大津市の財政状況

大津市の財政状況を地方公共団体の財政状況を示す指標で見ると、平成 27 年度の財政力指数 * は 0.80、経常収支比率 * は 89.9%であり、中核市平均と比較すると、本市の財政状況は平均以上となっています。



出典：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」より作成
※中核市平均は全中核市の単純平均である。

図 財政指標の推移 (中核市平均との比較)

大津市の財政健全化法に基づく健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を大きくクリアしており、健全段階にあるといえます。

表 財政健全化法による健全化判断比率の状況

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
平成 27 年度	発生しない	発生しない	6.2%	23.5%	発生しない
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%	20.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	—	—

歳出を目的別で見ると、社会保障関係費や、子ども・子育て支援施策を始めとする福祉サービスが中心の民生費の割合が最も高い状況が続いています。

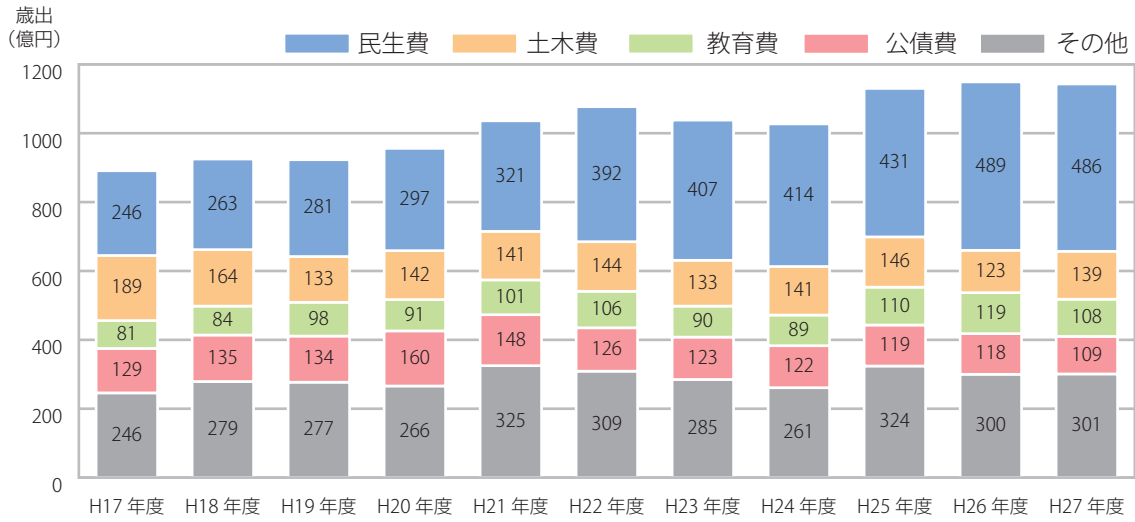


図 主な歳出（目的別）の推移

3 まちづくりに関する市民の意識

前大津市総合計画に基づいて実施している取組に対する満足度・重要度を把握するため、まちづくりに関する市民意識調査を実施しています。

平成27年度において、最近の市民意識の傾向をみるとともに、大津市が取り組むべき施策について把握を行いました。

表 平成27年度市民意識調査の概要

調査対象	大津市に居住する18歳以上の男女、3,000人
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	平成27年12月11日～12月28日
有効回収数	1,388件（全回収数から白紙回答を除いた数）
有効回収率	46.3%

暮らしの評価

大津市での暮らしの満足度は、76.0%が「満足」（「満足」32.1%と「やや満足」43.9%の合計）で、「不満」（「不満」4.5%と「やや不満」19.5%の合計）を大きく上回っています。

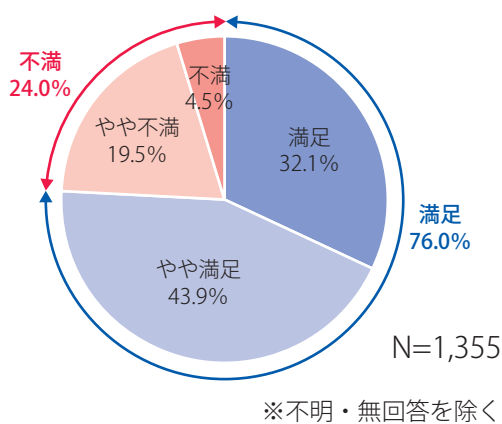


図 暮らしの満足度

施策の満足度・重要度からみるまちづくりの評価

前総合計画第3期実行計画の52施策ごとの満足度と重要度について点数化したものを、4つのゾーンに分けて分析を行いました。さらに、満足度と重要度の市施策全体の平均値と比較し、重要度が平均を上回っているにも関わらず、満足度が平均を下回っている施策を、特に市民の関心が高い施策として分類しています。

- ※『満足度』：「満足」=5点、「やや満足」=4点、「普通」=3点、「やや不満」=2点、「不満」=1点として算出
- ※『重要度』：「重要」=5点、「やや重要」=4点、「普通」=3点、「あまり重要でない」=2点、「重要でない」=1点として算出

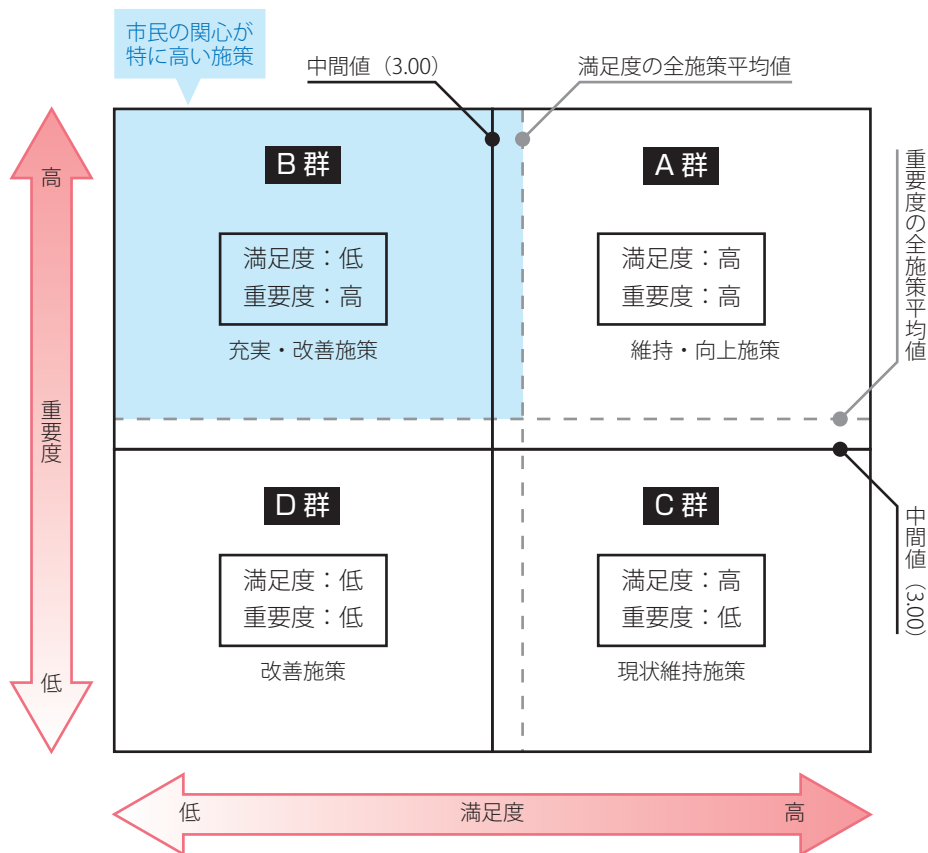


図 市民の関心から判断する施策の位置づけ

「維持・向上施策」は41施策あり、そのうち市民の関心が特に高い施策としては、「防犯対策」、「防災対策」、「生活福祉・保険年金」、「出産・仕事と家庭の両立支援」、「青少年の健全育成」、「障害者福祉」の6施策が挙げられます。

また、「充実・改善施策」11施策のうち、市民の関心が特に高い施策としては、「高齢者福祉」、「健全な行財政運営」、「教育」、「市内交通網の整備」、「勤労者への支援」の5施策となっています。

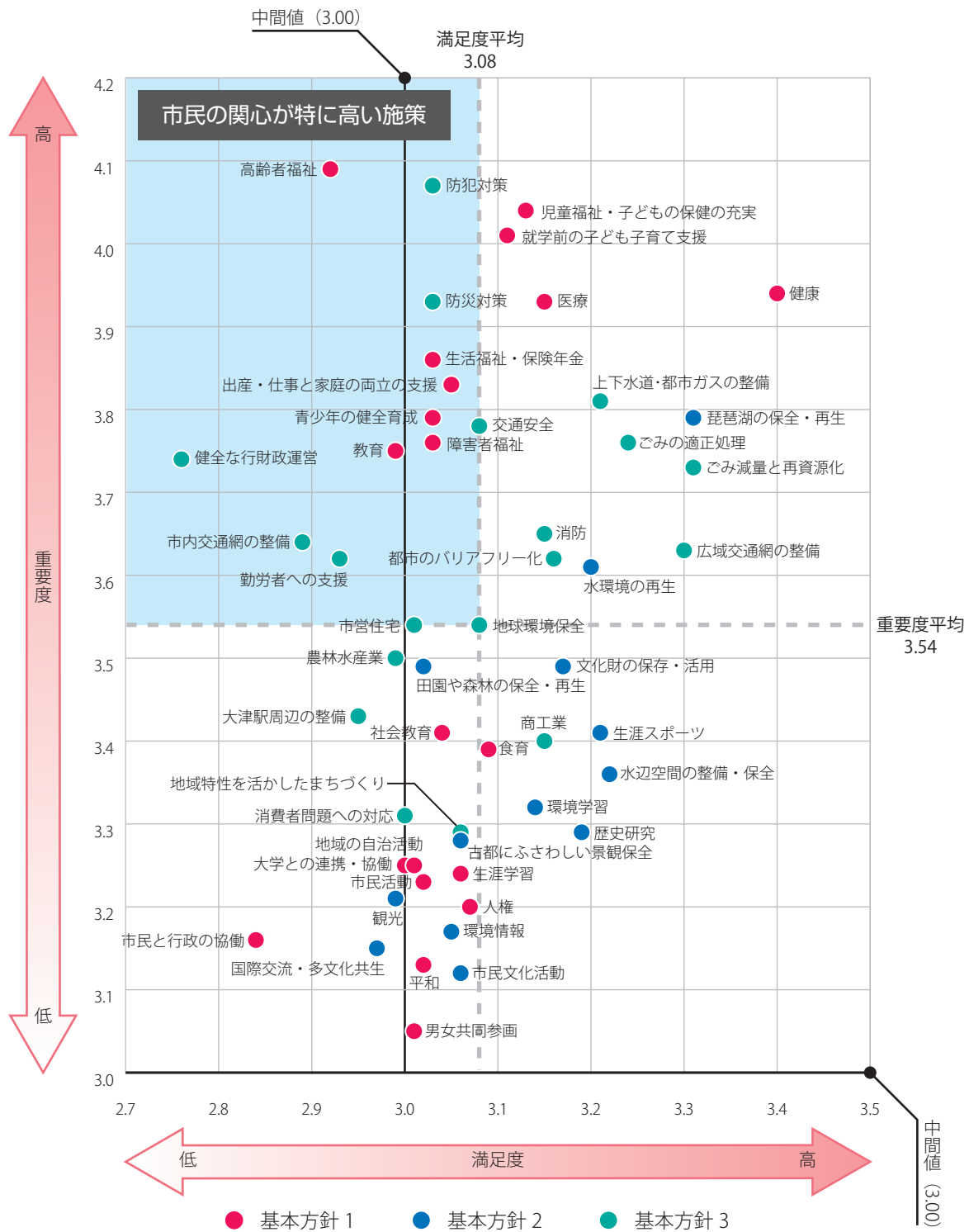


図 第3期実行計画の施策別重要度と満足度の関係

4 市民の参画

平成 26 年度から平成 27 年度にかけて、総合計画の策定に係る市民意見の聴取を行いました。

■市民意見交換会

時期	内容
平成 26 年 7 月～平成 27 年 7 月 全 9 回	大学生、女性、外国人など グループ別に意見交換会を実施

■市民インタビュー

時期	内容
平成 27 年 11 月～平成 28 年 1 月	市内の各分野で活躍されている方 22 名を対象にインタビューを実施

■地域別まちづくり会議

時期	内容
平成 27 年 12 月～平成 28 年 3 月	7 地域別に各 2 回ずつワークショップを実施

■まちづくり市民ワークショップ

時期	内容
平成 28 年 2 月 11 日	一般公募の市民 24 名を対象にワークショップを実施

表 市民意見の概要

	市民意見交換会	市民インタビュー	地域別まちづくり会議	まちづくり市民ワークショップ
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育てママの居場所づくり ● 幼稚園・保育園の充実 ● 学校教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て家庭への支援 ● 子どもの居場所づくり ● 学校教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て家庭への支援 ● 幼稚園・保育園の充実 ● 学校教育の充実 	
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が活躍できる仕組みづくり ● 地域包括ケアシステムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括ケアシステムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が活躍できる仕組みづくり ● 地域包括ケアシステムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が活躍できる仕組みづくり ● 地域包括ケアシステムの構築
健康	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域医療の充実 ● 生涯学習学習拠点の充実 			
地域社会 市民活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティ活動の充実 ● 女性の活躍 ● 大学連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティ活動の充実 ● 大学連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティ活動の充実 ● 女性の活躍 ● 大学連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティ活動の充実 ● 女性の活躍 ● 大学連携の推進
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 受入体制の整備・観光の活性化 ● 多言語対応、国際交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 受入体制の整備・観光の活性化 ● 多言語対応、国際交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 受入体制の整備・観光の活性化 ● 多言語対応、国際交流の推進 	
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 水環境の保全 ● 公園整備 ● 自然体験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然体験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水環境の保全 ● 公園整備 ● 自然体験の促進 	
歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史文化の発信 ● 景観をいかしたまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観をいかしたまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史文化の保全・発信 ● 景観をいかしたまちづくり 	
スポーツ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 競技力の向上 		<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯スポーツの振興 ● スポーツを楽しむ環境整備 ● 市民文化の創造 	
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 防犯対策 ● 交通安全対策 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災基盤の整備 ● 地域防災体制の強化 ● 交通安全対策 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災基盤の整備 ● 地域防災体制の強化 ● 防犯対策 ● 交通安全対策 ● ライフラインの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災基盤整備
都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地活性化 ● 公共交通ネットワークの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地活性化 ● 個性ある地域づくり ● 公共交通ネットワークの充実 ● 空き家対策 	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅を中心とした拠点整備 ● 公共交通ネットワークの充実 ● 空き家対策 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅開発
産業	<ul style="list-style-type: none"> ● 商店街の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 商店街の活性化 ● 雇用の創出 ● 農業の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業誘致・雇用創出 ● 商業施設の充実 ● 農業の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地場産業の活性化 ● 企業誘致
エネルギー ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミ収集方法の改善 		<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギーの活用 ● ゴミ問題 	<ul style="list-style-type: none"> ● 就労支援の推進
行財政		<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設マネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設マネジメント ● 市民参画の促進 	

